

RSウイルスワクチン（アブリスボ） 定期接種のご案内

令和8年度より開始

対象：妊娠28週0日～36週6日までの妊婦の方

当院は下記7市の委託医療機関です

大東市・四條畷市・門真市
寝屋川市・守口市・大阪市
にお住まいの方

▶ ご予約方法 受付窓口 または お電話 にてご予約ください。

▶ 接種当日の持ち物①～③

①母子手帳 ②マイナンバーカードなど 本人確認書類

③予診票（当院で準備しています。ご持参不要）

※ 費用についてはお住まいの市にお問い合わせください。

東大阪市にお住まいの方

【注意】接種前に「予防接種実施依頼書」（東大阪市発行）が必要です。事前に以下の方法で交付申請をお済ませください。

▶ 依頼書の交付申請方法

- 1 東大阪市のホームページから申請書を印刷・手続き
- 2 当院 受付窓口 へご相談ください（書類をご用意します）

▶ 接種当日の持ち物①～④

- ①母子手帳
- ②マイナンバーカードなど 本人確認書類
- ③予防接種実施依頼書（事前に東大阪市より取得）
- ④予防接種 予診票

詳しくはお住まいの（住民票のある）市町村にお問い合わせください。

ご不明な点は、**たかばたけウィメンズクリニック 受付窓口** まで
お気軽にご相談ください。

アブリスボワクチンについて

生まれてくる赤ちゃんをRSウイルスから守りましょう

令和8年度から、RSウイルスワクチン「アブリスボ」の定期接種が始まります。

生まれてきた赤ちゃんは、2歳までにほぼ100%がRSウイルスに感染します。特に、生後6か月未満で感染すると重症化します。

日本では、毎年12～14万人の2歳未満の乳幼児がRSウイルス感染症と診断され、約1/4が入院を必要とし、生後1～2か月の乳児が最も多くなっています。

「アブリスボ」を妊婦さんに接種することで、お母さんの体内でRSウイルスに対する抗体が作られ、その抗体が胎盤を通じてお腹の赤ちゃんに移行します。

この抗体が生まれてきた赤ちゃんを生後数か月の間RSウイルスから守ってくれるので、RSウイルスにかかりにくくなったり、重症化しにくくなったりします。

「アブリスボ」は妊娠28週0日～36週6日までの妊婦の方が接種対象です。

(ワクチンの効果が現れる期間を確保するため、ワクチン接種から分娩まで14日以上期間が必要です。)



たかばたけウィメンズクリニック